

「線状降水帯」、インフルエンザのワクチン接種について(2015年9月)

今月も異常な天候による災害から始めます。

アベック台風が日本列島を挟み撃ちにし、真新しい気象語の「線状降水帯」が、とんでもない量の雨をもたらしたのです。その結果は、土砂崩れ、堤防の決壊、洪水、そして生活ラインの断裂等々。先月10日に起こった茨城県の洪水では、東日本大震災時の津波の映像の再現かと思う程で、濁流に家屋が流される様が映し出されていました。被災の大きさに比して、人的な犠牲が大きくなかったことが、せめてもの救いだったでしょうか。

風速70m/秒以上の勢力を持つ「スーパー台風」が、日本の南端の島々を度々襲ってきたり、竜巻などが各地で頻繁に起こっています。これらが、地球温暖化に依る物ならば、そのことを造りあげた私達が、全ての叡智を動員して、元の地球環境に戻すことを行わねばならないと考えます。私たちは、少なくとも現在享受している様々な楽しい事や現象を、子供・孫そして曾孫(ひまご)という子子孫孫の世代に引き継ぐ義務が有るはずで

す。朝晩めっきり涼しくなり、夜は寒い位になってきております。寝冷えなどしない様につけましよう。



インフルエンザのワクチン接種について。

間もなくワクチン接種が始まります。今年から守備範囲を広げる形の改善ワクチンとなり、その分値段が上昇しました。具体的には、ワクチン1回で、3800円となります。65歳以上の高齢者の方々は自治体から1800円の補助があります。接種は、今月15日より出来ます。インフルエンザの感染より、身を守るために、進んで接種を受けましよう。リスクの大きい方々は、特に要注意・要接種です。

様々の実りの秋、適度に体を動かし、食べ物のおいしい季節を快適にすごましよう。敢えて言わせて頂きたいのは、少なくとも体重だけは、増やさないようにということです。

また来月お会いましよう。お元気で!!

平成27年9月 院長 清治 邦夫